

大阪府立大学 看護学部

現代 GP 採択プログラム「看護実践能力の獲得を支援する e-Learning」

「e-Learning World 2006 -Expo & Conference- e-School 第2回学校教育 IT 総合展」の参加

平成 18 年 7 月 26 日(水)～28 日(金)にかけて『e-Learning World 2006 -Expo & Conference- e-School 第2回学校教育 IT 総合展』が東京ビッグサイトで開催された。この展示会は 2001 年より開始され、e-Learning の普及促進と健全なる市場の発展を目的に今回で第 6 回目の開催となった。

本学は、平成 17 年度現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム（現代 GP）採択校として、CanGo プロジェクトの展示ブースを設置し、パンフレット等の配布と参加者への説明を実施した。また、7 月 28 日のプレゼンテーションでは、CanGo プロジェクトの取り組みについて、取り組み推進責任者の一人である真嶋由貴恵助教授が「看護実践能力の獲得を支援する e-Learning」をテーマに発表した。

3 日間参加し、来場者からの質問や意見を伺った感想として、われわれのプロジェクトは、看護という領域であるということ、目的が明確で、非常に分かりやすいのではないかとことがあげられる。会場内でも多くの e-Learning システムの展示はあったが、そのシステムに入れるべきコンテンツは限られていた。今後、こうした e-Learning システムを活用してどのように教育や学習を進めていくのか、という実践部分での議論が、e-Learning の普及促進の鍵を握っていると感じた。



大阪府立大学プレゼンテーション様子

● 展示ブースでの活動報告

1 資料配布

CanGo パンフレット 2005 年度版 約 100 部

CanGo パンフレット 2006 年度版 約 430 部

OPU(大阪府立大学広報誌)Vol.1 約 300 部

2 展示ブースへの立ち寄り者数 約 200 名

3 現代的教育ニーズ取り組み支援プログラムプレゼンテーション

「看護実践能力の獲得を支援する e-Learning」出席者数 75 名（満席）

4 本学展示ブース担当者への質問

- ① この教材は販売されているのか、その予定はあるのか
- ② e-Learning システムおよびソフトウェアは大学独自で制作しているのか
- ③ 教材制作の目的は、基本的な学力 UP か、実習先での対応か、国試対策か？

など

